

2019年11月1日

課題名：造血幹細胞移植の末梢血 WT1 mRNA 測定の意義に関する後方視的研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、同種造血幹細胞移植を実施された患者さんの末梢血 WT1 mRNA を調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2010年12月から、2018年12月までの間に、初回の同種造血幹細胞移植を受けた急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

移植日、移植時年齢、性別、疾患名、WHO 分類、治療歴、予後不良な染色体異常・遺伝子異常の有無、ドナーソース、前処置、移植前治療、再発の有無、最終確認日、末梢血 WT1 mRNA 発現量

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。これらの情報は、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、京都大学医学部附属病院にて解析を行います。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

血液内科 研究責任者 上田恭典

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明